

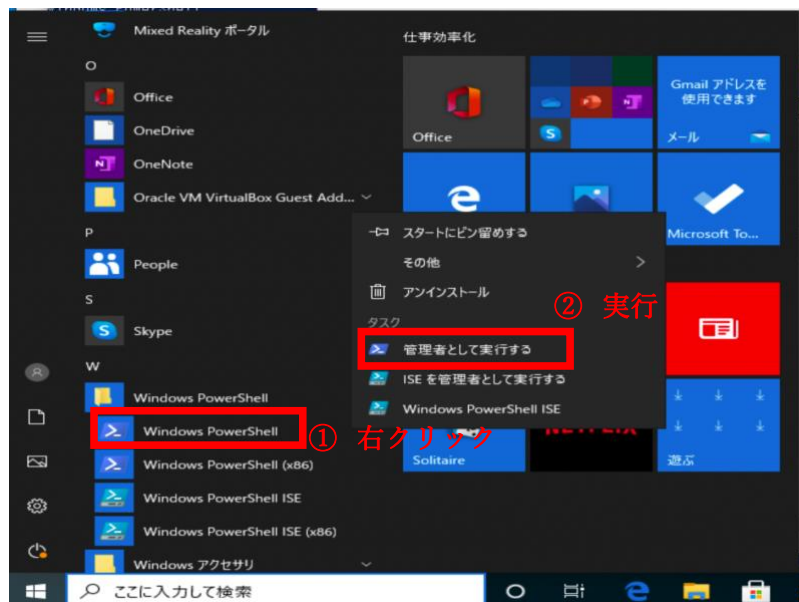
Disney Ticket Getter

コードマニュアル(Windows 版)

・準備

このコードは PowerShell なるスクリプト言語を使って書かれているのですが、Windows くんはデフォルトでは PowerShell のコードの実行を許可してくれません (PowerShell は非常に強力で、使い方によってはブラウザにアクセスしてパスワード打ちまくったりできるので)。流石にこの状態では何もできないので、初めにコードの実行を許可する方法を説明します。ここではざっくりとしたやり方しか説明しないのでより詳しく知りたい方は[これ](#)¹を、セキュリティをガチガチにして実行したい方は[これ](#)²を参照してください。また、3 ページの補足にちょっとだけセキュリティの高い (けど、ちょっと面倒臭い) 方法も書いておくので参考にしてください。

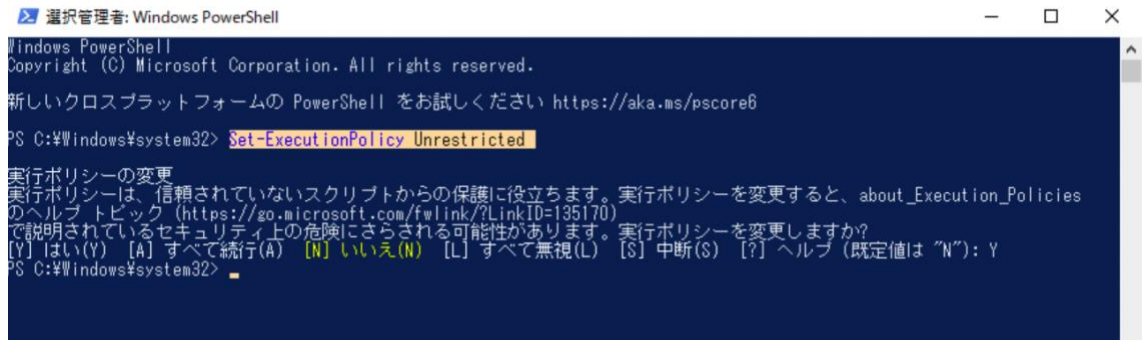
1. Start ボタンから”Windows PowerShell”を開きます。この際、右クリックを押して「管理者として実行」をしてください。



¹ <http://capm-network.com/?tag=PowerShell> スクリプトの作成と実行

² <https://qiita.com/earthdiver1/items/b3f529c81f5892972a72>

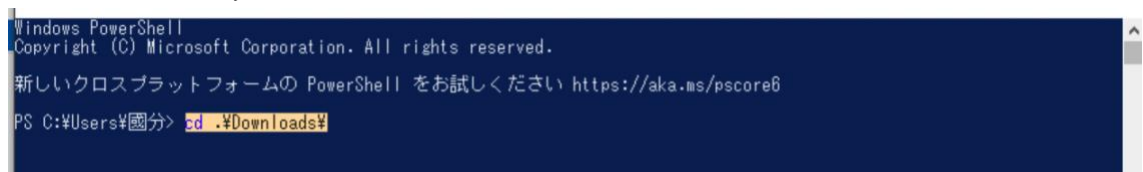
2. Windows PowerShell を管理者として開いたら、“Set-ExecutionPolicy Unrestricted”と入力してください。入力すると図のような質問が飛んでくるので Y を押して許可してください。これでコードを走らせることができるようになります。



3. コードを走らせ終わった後は、“Set-ExecutionPolicy Restricted”と入力し、同じように Y で許可すれば、デフォルトと同じ（任意のコードの実行を許可しない）状態に戻すことができます。

・使い方

1. パソコンで GitHub を開き、コードをダウンロードしてください。エクスプローラーのダウンロードに”D-code-main”が追加されるので好きなフォルダに移して展開してください（別に移さなくても問題はないです）。
2. Start ボタンから”Windows PowerShell”を開きます（ここでは「管理者として実行」にする必要はありません）。
3. 開いた PowerShell 上で cd コマンドを使ってコードが置いてあるフォルダに移動します。1. で特に移動しなかった場合は下の写真と同様に”cd .\Downloads\D-code-main\DisneyTicketGetter\Windows”と打てばいけるはずです。



4. “¥DisneyTicketGetter.ps1”と打てば実行できます。本当に実行するかと聞かれるので R と打ち実行してください。

```
Windows PowerShell
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

新しいクロスプラットフォームの PowerShell をお試しください https://aka.ms/pscore6

PS C:\Users\¥国分> cd .\Downloads¥
PS C:\Users\¥国分\Downloads> .¥DisneyTicketGetter.ps1

セキュリティ警告
信頼するスクリプトのみを実行してください。インターネットから入手したスクリプトは便利ですが、コンピューターに危害を及ぼす可能性があります。このスクリプトを信頼する場合は、この警告メッセージが表示されないように、Unblock-File コマンドレットを使用して、スクリプトの実行を許可してください。C:\Users\¥国分\Downloads¥DisneyTicketGetter.ps1
を実行しますか?
[D] 実行しない(D) [R] 一度だけ実行する(R) [S] 中断(S) [?] ヘルプ (既定値は "D"): R
```

5. 途中で止めたい時は“Ctrl+c”を入力してください。（このコード君はデフォルトだと 20000 回ディズニーのサイトにアタックし続けます）

・補足

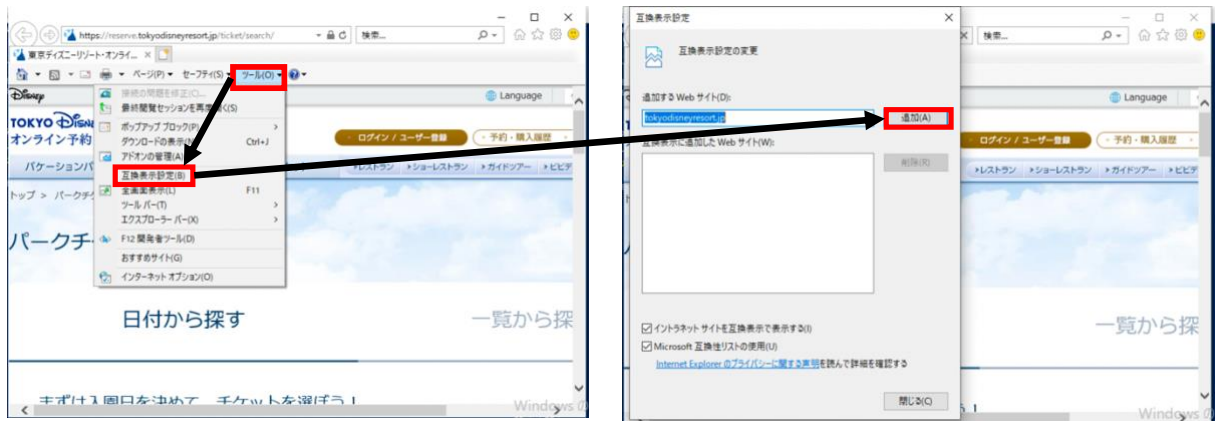
- ・ちょっとだけセキュリティの高いコードの実行許可について

” DisneyTicketGetter.ps1”をダウンロードしたらダブルクリックで開いてください。それとは別にメモ帳を開いてください。” DisneyTicketGetter.ps1”に書かれているコードをメモ帳にコピーして保存してください（” DisneyTicketGetter.ps1”は作成者が不明（僕）ですが、新しく作ったファイルは作成者が自分になります）。次に PowerShell を管理者として開き、” Set-ExecutionPolicy RemoteSigned”と入力してください（これは自分で作ったスクリプトだけ実行を許可するコマンドです）。こうすることでインターネットで拾ったスクリプトは実行することなくコードを走らせることができるので少しだけセキュリティが向上します。デフォルトと同じ（任意のコードの実行を許可しない）状態に戻すには” Set-ExecutionPolicy Restricted”と入力します。

- ・実行結果が”Failure!!”になる場合について

環境（PowerShell と Internet Explorer のバージョン？）によっては、アクセスしたサイトの情報を抜き出してこれないことがあります。その場合、PowerShell 上に”Failure!!”と表示するようにしてあります。これが出たら、Disney のページを開いた状態で、「ツール(O)」→「互換表示設定(B)」を選択し Disney のページを互換表示に設定してリトライしてみてください（下図参照）。これでうまくいく場合もあればいかない場合もあります。原因について色々調べたのですが、ネットの海

に生息している強い方々でもはっきりとしたものはわからないようです。参考になるかは分かりませんが [これ](#)³ とか [これ](#)⁴ とかが役に立つかも知れません。



• Access Denied について

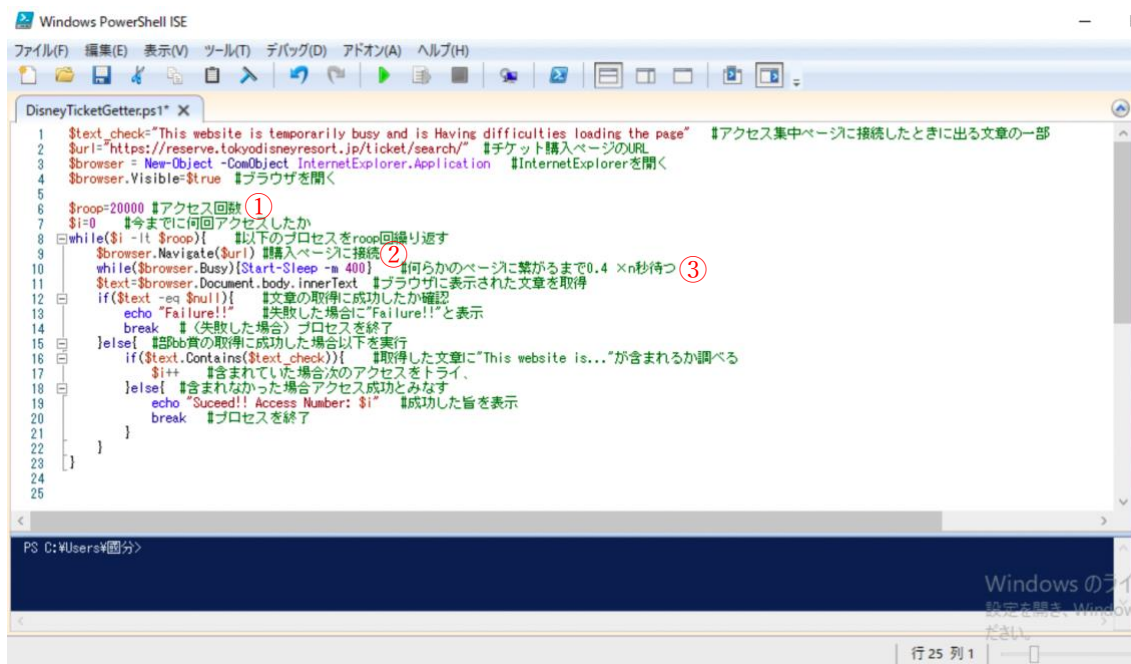
アクセス頻度はデフォルトで 2.5 回/秒(0.4 秒に 1 回)です。僕のパソコンでは問題ないのですがもしかしたらディズニーのサイトから Access Denied されるかも知れません。その場合、設定変更してアクセス頻度を下げてください。

³ https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q14214231674

⁴ <https://teratail.com/questions/94800>

・コードの設定変更をしたい場合

設定を変更したい場合、エクスプローラーで”DisneyTicketGetter.ps1”をダブルクリックしてメモ帳を使うか、PowerShell ISE を使っていじることになります。



```
1 $text_check="This website is temporarily busy and is Having difficulties loading the page" #アクセス集中ページに接続したときに出る文章の一部
2 $url="https://reserve.tokyodisneyresort.jp/ticket/search/" #チケット購入ページのURL
3 $browser = New-Object -ComObject InternetExplorer.Application #InternetExplorerを開く
4 $browser.Visible=$true #ブラウザを開く
5
6 $roop=20000 #アクセス回数 ①
7 $i=0 #今までに何回アクセスしたか
8 while($i -lt $roop){ #以下のプロセスをroop回繰り返す
9     $browser.Navigate($url) #購入ページに接続 ②
10    while($browser.Busy){Start-Sleep -s 400} #何らかのページに繋がるまで0.4 ×n秒待つ ③
11    $text=$browser.Document.body.innerText #ブラウザに表示された文章を取得
12    if($text -eq $null){ #文章の取得に成功したか確認
13        echo "Failure!!" #失敗した場合に"Failure!!"と表示
14        break #失敗した場合 プロセスを終了
15    }else{ #部活の取得に成功した場合以下を実行
16        if($text.Contains($text_check)){ #取得した文章に"This website is..."が含まれるか調べる
17            $i++ #含まれていた場合次のアクセスをトライ
18        }else{ #含まれなかった場合アクセス成功とみなす
19            echo "Succeed!! Access Number: $i" #成功した旨を表示
20            break #プロセスを終了
21        }
22    }
23 }
24
25
```

開くと上の写真のようなコードが出てきます。簡単なので少しいじれば変更できます。各行の説明はコメントアウトに書いてあります(文字化けしていただければ)が、必要になりそうな変更の仕方について書いておきます。

- ① (6行目)アクセスに何回失敗したらあきらめるかをここで決めています。デフォルトは2万回で、2時間弱がんばってくれます。もっと頑張れやって場合は増やしてください。
- ② (9行目)ディズニーチケット購入ページを開いてくれようとしてくれてます。ディズニー以外のサイトに使いたい場合には1行目のテキストと2行目のURLを変更すれば使えます。
- ③ ここでサイトに文章が表示されるのを待つと同時に、アクセス頻度を決定しています。短くすればするほどコードくんの効率は高まりますが、ある一定頻度を超えると

Access Denied されるので、ちょうどいいところを決めなければなりません。(僕のパソコンでは 0.4 では問題なく、0.35 だといけたりいけなかったり...あんまり詳しく検証してないのでよりタイムが見つかったら教えてください)

その他、したい変更や欲しい機能などあれば言ってください(14:00 になったら自動で起動する機能とか、アクセス成功したら音で知らせてくれる機能とか?)。やれる範囲で対処します。